



「お住まいの塗り替えにお役に立つ情報を毎月発信しています！」

ニュースレター

おまかせください！！

2014. 第 80 号



いつもお読みいただきありがとうございます。三商事(さんしょうじ)の上神谷(かみかべや)です。

最近、めっきり朝晩が寒くなってきましたね。つい最近までとても暑かった気がありますが、振り返ってみればあっという間でしたね。現場で作業している最中は大変なのですが・・・。

暑いのに弱いので毎年暑さが心配ですね。今年もどうにかこうにか乗り切りました。

ぼくは水分補給を人よりしなければいけないので、少し工夫しながら脱水にならないように気をつけていました。

その工夫とは・・・

まず、飲むものを「スポーツドリンク」に限定していました。麦茶などを持って行

っていた時もあるのですが、吸収が良いと

いうことでいえば、やはりスポーツドリンクということなのでほとんどこれだけを飲んでいました。

ですが、そうは言っても、量も飲まなくてはいけないので「糖分」が気になります。

4ℓ、もしくはそれ以上飲んでいましたので・・・。なので、半分に薄めて持って行くようにしていました。

あと、冷たくしないようにしていました。ほとんど氷などは入れていかないようにしていて、もう飲むころにはぬるい状態なのですが、薄めているせいもあって温くてもけっこう飲めましたね。

濃い味のままですと飲みづらくてだめでした。いずれにしても量を飲まなければいけないので薄めて正解なのです。

そんな感じで水分補給をしながら何とか今年も夏を乗り切れました。来年の夏はどうなるのでしょうかね・・・？



話が変わって・・・

今、困っている事がありまして・・・。
2歳の下の子が寝ないんです。



これ、夜の11時ごろの写真です・・・。
ブロックをがしゃがしゃがしゃ～って出して、組み立て始めて・・・。もう、寝ない？と聞いても全然、意に介さず・・・です。

昼寝で寝過ぎて・・・というわけでもないですし、かえって昼寝をしない日もあったりするということなのですが、それでも寝るのが遅い・・・。遅いと午前1時くらいまで起きています。

ぼくは次の日が早い時がほとんどなので子供より先に寝てしまいます・・・。2歳にしてすごい体力というか・・・。

このようにブロックをしたり、iPadで動画を見たりしてます。

少ししか教えていないのですが、2歳でタブレット端末をほぼ不自由なく操作できるのですからすごいです。子供って本当に

吸収が早いというか、なんというか・・・。

それにしても早く寝るようにしてほしいです・・・。



お世話になっております。
長坂利昭です。
今号もお読み頂きありがとうございます。

我が家ではここ2～3カ月の間に、妻が副鼻腔炎・椎間板ヘルニア、長女は中耳炎、次女はヘルパンギーナ・突発性発疹等々。どういう訳だか病氣三昧の日々を過ごしてしましまして・・・。

平日休みの私に合わせて、誰かしらが病院へ通い、毎日みんなが薬を飲んで・・・。ようやく落ち着いてきた今日この頃です。

皆様のご家庭ではいかがでしょうか？健康第一。どうぞ毎日お元気でお過ごしください。



■地元で愛されるには・・・

先日、あるテレビ番組でサッカー元日本代表の岡野雅行さんの「今」を特集してい

ました。岡野さん・・・現役時代は「野人」と呼ばれ、フランスW杯出場の決勝ゴールを決めた選手と言えれば思い出していただけるでしょうか。

その岡野さんは、昨年現役を引退。最後の所属チームとなった「ガイナレ鳥取」のゼネラルマネージャーとしてチームの為、鳥取の為に仕事をされています。

ゼネラルマネージャーと聞けば聞こえはいいですが、チームはあくまでも現在J3、地方の小さなサッカークラブ。スタッフも少ないので、スポンサーへの営業や選手のスカウトといった本来の仕事だけではなく、雑用のような仕事も自らしなければなりません。

そんな中で、今後、チームをいかに強くしていくか、そしてそのチームを通じて、地元鳥取にどう社会貢献していくのか・・・日々考え、行動しているそうです。

その中でも印象的だったのは、地元境港の漁師さんとのプロジェクト。

個人から「ガイナレ鳥取」への出資を募り、出資をした人には、境港から良質の水産物が送られるというものだそうです。

最近では、ふるさと納税で同じような取り組みをしている自治体もありますが、やはり人口減少、過疎化が進む地方にとっては、いかに財源を確保し、そこに暮らす人々の生活を豊かに出来るかが課題となっています。

この岡野さんの取り組みも、多くの賛同が得られれば、チームの強化費がうるおい、高い能力を持った選手を獲得することが出来る。また、水産物を提供した漁師をはじめとした県民の収入も増して豊かになる。

その県民が、チームを応援するためにスタジアムへ足を運べば、チームの収入が増えて・・・と好循環になるはずです。

まあ、現実には、そう簡単にはいかないのかもしれませんが、今はネットが普及した時代。

日本全国、世界各地といったグローバルとは大げさ過ぎても、視野、対象を広く持つことが結果的に地元、そして自分たちの為になる世の中なのだなと感じました。

合わせて、自分たちの強みは何なのかを自己分析し、その強みを多くの人に知ってもらうための情報をどのように発信するかという事も。

■地方とは状況の違う東京だけど・・・

東京で商売をさせていただいている当店。仕事的内容的に、「グローバルに！」と意気込む必要はない職種・・・というかやろうとしても出来ない職種ですが、同業他社が多くある中で、まずは「地元で愛される」存在にならなければ・・・という想いは、サッカークラブと同じ。

今後、当店も様々な努力、アイデアが必要なのだと気付かせてくれる話でした。

・・・と、何だか硬い話題になってしまいましたね（苦笑）。次号は私も家族ネタにしようかな・・・？

■そうなってくれば嬉しいけど・・・

話は変わりまして・・・先日、新聞の折り込み広告でこのようなものを見ました。

「30年以上メンテナンス不要！
ガルバリウム鋼板屋根にふき替え！！」

とあるリフォーム会社さんのチラシだったのですが、気になってしまいました・・・この「メンテナンス不要」という言葉。

まず、ガルバリウム鋼板とは？ですが、鋼板（鉄板）の表面にアルミニウム、亜鉛、シリコンを主成分とする材料でめっきを施した比較的新しい建築素材のことです。

同じ鋼板で、長らく建築素材として使われた「トタン」と比べると、確かに様々な面で優秀な素材であることは実証済みです。

しかし、30年以上という長い期間、何もせずに放っておいていいかと言うと・・・その理由が、この素材が世に普及し始めて、そう年月が経っていない点にあります。

国内数社が、競ってガルバリウム鋼板の生産を始めたのは1990年代になってからのこと。つまりは、実際に30年以上使用し、経過を確認することが出来る事例（家）はまだまだ少ないわけで・・・。

もちろん、研究・開発の段階で、何もしなくても30年以上は耐えうるであろうというデータに基づいての話であることは承知の上なのですが、あくまで限られた状況下での実証結果にすぎません。

実際、住宅の立地条件は様々であり、どんな状況下でも、同様の結果が得られるとは考えにくいのです。

ですから、人間の健康と同じく、数年に一度チェックをし、不具合は無いだろかと経過を見ていく程度の「メンテナンス」は最低限必要だと考えます。

「30年は大丈夫と言われているから」

と何もせずに放っておいては、家屋にとって重大な問題を見逃す可能性も・・・。

■同様に・・・

塗料に関しても、販売して間もない塗料が「20年以上」「半永久的」に効果が持続しますと、うたっていることがあります。

しかし、これまでの話と同様、果たして20年後、30年後・・・その塗料がどのような経過をたどるのか分かっていない、実績がない段階で「これ良さそうですよ！」と半ば無責任にも取れる提案は出来ません。

また必然的に塗料の価格自体も高くなり、ご予算に見合った工事となるかという話しにもなりますし・・・。

ですから、現状、当店では実績に基づいた10～15年で次の塗り替え時期が来る塗料のみをオススメしております。

今までに当店で工事をさせて頂いたお宅を回り、「塗装後〇年経過」というご案内もしておりますので、これから塗装工事をお考えの方は、是非参考になさってください。



発行者 上神谷裕治（かみかべやゆうじ）

記事 上神谷裕治、長坂利昭

住所 府中市紅葉丘1-1-15

TEL、FAX 042-365-1402

または 090-1504-8833

ホームページ <http://www.sanshouzi.com/>
ブログ <http://sansyouzi.blog73.fc2.com/>

<http://sansyouzi.seesaa.net/>

